滋賀県立大学情報処理教育システム・CALLシステムおよび情報基盤システム借入に係る落札者決定基準

1 評価実施機関

- (1) 評価は「公立大学法人滋賀県立大学情報処理教育システム・CALLシステムおよび情報基盤システム提案評価委員会」(以下「評価委員会」という。)が実施する。
- (2) 評価委員会は、入札参加者から提出された入札書および提案書について、本「落札者決定基準に基づき、付与する点数の判断を行う。

2 総合評価に関する事項

(1) 評価項目

総合評価落札方式の適用において評価対象とする項目は、入札価格ならびに次 頁の提案要求事項一覧表の「評価項目」とする。

(2) 評価配点

評価にあたっては100点(総合評価点)の範囲内で配点を行い、入札価格による評価点(価格点)と提案書の内容等による評価点(技術点)に区分し、配点をそれぞれ価格点40点、技術点60点とする。

(3) 評価方法

ア 入札価格による評価

入札価格による評価点(価格点)については以下の評価方式により算出する。 入札価格による価格点=価格点の配布(40点)×(1-入札価格/予定価格)

イ 技術評価

- ① 仕様書の内容については、要件確認審査において1つでも仕様書の基準を満たしていない項目がある場合は失格とする。
- ② 提案書の内容等による評価点については、各項目に記載された評価内容についてそれぞれ採点を行う。提案書の内容等による評価点(技術点)の合計は60点となる。
- ③ 技術点は評価基準に基づき、評価委員会が採点を行う。

3 落札者の決定方法

- (1) 下記の要件を全て満たした者で、価格点と技術点の総合評価点が最も高いものを落れ者とする。
 - ア 入札説明書(要求仕様書)において明らかにした性能等の要求要件のうち、要件 確認審査および提案評価委員会において、すべての項目について仕様書の基準を満 たしたと判断された者 (2(3)ウ①のとおり)
 - イ 入札価格が、予定価格以下であるもの
- (2) 総合評価点が同点となる入札者が二人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。くじ引きの実施日時、場所等については別に連絡を行う。

なお、くじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員にくじを 引かせるものとする。

4 評価の対象外となる場合

評価委員会事務局の事前の審査の結果、次に該当する場合は、評価委員会による評価 の対象外となるとともに落札者決定の対象から除外される。

- (1) 仕様書の要求項目のうち実施しないあるいはできないとする項目がある場合
- (2) 仕様書で要求水準を定めたものについて、その水準を満たさない場合
- (3) 提案を求めた項目に対して、提案内容が示されていない場合
- (4) 入札価格が、予定価格を上回る場合

滋賀県立大学情報処理教育システム・CALLシステムおよび情報基盤システム借入に係る提案要求事項一覧表

| No. | 評価項目 | 評価細目 | 評価内容 | 評価 ランク | 評価指標 |
|-----|----------------|--------------------|---|-----------|--------------------------|
| | | | 大シフテルレ粧がたが同位い し担性 | Α | 優れた実績がある。 |
| | | 構築実績 | 本システムと類似および同等以上規模の構築実績があるか。 | В | 実績がある。 |
| | | | い は次次は2000 。 | С | 実績がない。 |
| | | | クライアントシステムのソフトウェアの納 | Α | 優れた実績がある。 |
| 1 | 全般 | クライアントシステム納入実績 | 入実績があるか。 | В | 実績がある。 |
| | | | 7 (5C4)3K10 (55 (57) | С | 実績がない。 |
| | | 資格·認証 | 個人情報を取り扱うための最低限の認 | Α | 優れている。 |
| | | | 証・資格を有しているか。 | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の資格・認証である。 |
| | ネットワーク設備 | ネットワーク機器 | ネットワーク機器は十分な性能を有すると認められるか。 | A | すぐれた能力を有する。 |
| | | | | В | 標準的な能力を有する。 |
| 2 | | | | C | 最低限の能力を有する。 |
| | | 冗長化 | 冗長化の方式は適切であると認められるか。 | A B | 優れた方式である。 |
| | | | | С | 標準的な方式である。 最低限の方式である。 |
| | | | | | |
| | | システムの統合 | 仮想化ソフトウェアを使用してシステム の統合化が行われているか。 バックアップの対象、頻度、保存時間等 | A B | 標準的な考慮である。 |
| | | | | С | あまり考慮していない。 |
| | | | | A | よく考慮されている。 |
| | > / + | バックアップ | ハックアックの対象、頻度、味仔時間等は十分に設計されているか。またバックアップ専用のLANを前提に提案されているか。 | | |
| 3 | システム基盤 | | | В | 標準的な考慮である。 |
| | | | | С | あまり考慮していない。 |
| | | | サーバ障害発生時の自動復旧機能は適切であると認められるか。 | Α | すぐれた能力を有する。 |
| | | 障害時の自動復旧 | | В | 標準的な能力を有する。 |
| | | | - | С | 最低限の能力を有する。 |
| | 統合認証基盤システム | LDAP サーバ | LDAPサーバの冗長構成は適切であると認められるか。 | Α | 優れている。 |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | C | 最低限の構成である。 |
| | | 一 北 佐田機紀 | ユーザ管理機能は使いやすいと認めら れるか。 | A | 優れている。 |
| | | ユーザ管理機能 | | В | 標準的である。 |
| | | | | C | 最低限の機能である。 |
| 4 | | 1 P 44 TT 144 AL | アカウント登録/パスワード変更を行った際の帳票出力機能は使いやすいと 認められるか。 | Α | 優れている。 |
| | | ユーザ管理機能 | | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の機能である。 |
| | | | 要求項目に挙げた学務事務、大学情報DB、教職員用ADが対象となっているか。また利用可能なデバイスのOS、ブラウザの拡張性が考慮されているか。 | Α | 優れている。 |
| | | シングルサインオン | | В | 標準的である。 |
| | | (SSO) | | | |
| | | | | С | 最低限の構成である。 |
| | | DNS サーバ | DNSサーバの冗長構成は適切であると 認められるか。 | Α | 優れている。 |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の構成である。 |
| | | Web サーバ | Webサーバの冗長構成は適切であると 認められるか。 | Α | 優れている。 |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の構成である。 |
| | | Web サーバ | Webサーバへのデータ登録は一般ユー ザにとって使いやすいと認められるか。 | Α | 優れている。 |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | C | 最低限の機能である。 |
| | | メールサーバ | メールサーバの冗長構成は適切である と認められるか。 | A | 優れている。 標準的である。 |
| | | <u> </u> | | В | 標準的である。 最低限の構成である。 |
| 1 | 教育研究支援システム | | | C | |
| | | メールサーバ | メーリングリストの運用が簡単に行えると認められるか。 | A B | 優れている。 標準的である。 |
| 5 | | , -,v, -, r | | С | 標準的である。 最低限の機能である。 |
| | | | | | |
| | | グループウェア グループウェア | 現行グループウェア(Desknet's)からのデータ移行は行えると認められるか。 文書管理、インフォメーション、設備予約、アドレス帳、ワークフロー、スケジュール、メールクライアント等の機能は使いやすいと認められるか。 | Α | 標準的である。 |
| | | | | В | 最低限である。 |
| | | | | Α | 優れている。 |
| | | | | | |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の機能である。 |
| | | SSL-VPN | SSL-VPNの認証情報と統合認証システムの認証情報を区別でき、SSL-VPNもしくは統合認証システムの認証情報が詐取されても学内資源にアクセスされない仕組みを有しているか。 | | |
| | | | | Α | 優れている。 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | れない狂組みを有しているか。 | _ | 1×-43 C03 00 |

| No. | 評価項目 | 評価細目 | 評価内容 | 評価 ランク | 評価指標 |
|-----|--------------|----------------|---|---------------|-----------------|
| | 演習室用サーバ設備 | 全体構成 | 演習室サーバの集約は適切であると認められるか。 | A | 優れている。 |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の構成である。 |
| 6 | | クライアント管理 | クライアント管理機能は使いやすいと 認められるか。 | Α | 優れている。 |
| | | | | В | 標準的である。 |
| | | | | С | 最低限の機能である。 |
| | クライアントシステム - | クライアント | クライアントの性能は十分であると認められるか。 | Α | 十分に満たしている |
| | | | | В | 満たしている |
| | | | | С | 最低限満たしている |
| 7 | | クライアント | クライアントモニターの電源OFFにかかる負担を軽減するための対策が講じられているか。 | A | 詳細に検討されている。 |
| | | | | В | 多少検討されている。 |
| | | | | C | 最低限検討されている。 |
| | CAIシステム | CAIシステム | 本調達対象外のCAIクライアントイメージを管理するための計画がされているか。 | Α | 優れた計画である。 |
| | | | | В | 最低限の計画である。 |
| 8 | | CAIシステム | 本調達対象外のCAIシステムで導入された各システムに影響が出ないよう配慮されているか。 | Α | 詳細に検討されている。 |
| | | | | В | 最低限検討されている。 |
| | AVシステム | AVシステム | 現行システムと同等以上の機能を有し ていると認められるか。 | Α | 現行を上回る機能を有している。 |
| 9 | | | | В | 同等だが機器交換が多い。 |
| | | | | С | 現行と同等の機能を有している。 |
| | 環境構築 | 環境構築 | 設置環境と電源環境は十分に調査され、適切に提案されているか。 | Α | 詳細に検討されている。 |
| 10 | | | | В | 一定の検討がされている。 |
| | | | | С | 最低限検討されている。 |
| | 設置移行作業 | 既存システムとの接続 | 既存システムに影響を与えないよう事 前調査・計画等がされているか。 | Α | 詳細に検討されている。 |
| | | | | В | 一定の検討がされている。 |
| 11 | | | | С | 最低限検討されている。 |
| 11 | | データ移行 | データの移行作業は妥当であり実現可 能であるか。 | Α | 詳細に検討されている。 |
| | | | | В | 一定の検討がされている。 |
| | | | | С | 最低限検討されている。 |
| | 保守サポート | 保守サポート | サーバに障害が発生した場合の対応 は適切であると認められるか。 | Α | 優れた計画である。 |
| | | | | В | 標準的な計画である。 |
| | | | | С | 最低限の計画である。 |
| 12 | | 保守サポート | システムに障害が発生した場合の対応は適切であると認められるか。 | Α | 優れた計画である。 |
| | | | | В | 標準的な計画である。 |
| | | | | С | 最低限の計画である。 |
| | | 1 | | 要 | |
| 全体 | | 要件を満たさない項目があった | | <u>^</u> 否 | |